



横浜市立岡村小学校・学校だより R2.6.30 学校ホームページURL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

“コロナパニック”の影響下、想定される危機回避に努め、未来につながる教育活動を創出します。

校長 きいとう ともあつ 齋藤 有厚

横浜市教育委員会が制定した「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」の指導の下、6月1日から本校の状況を加味した段階的な再開活動を進めてきました。1ヶ月間を無事過ごすことができました。新生活様式の重要性を理解し自らの行動に注意している子どもたち、毎日の健康観察等ご支援いただいている保護者の皆様、登校の見守りを引き受けていただいたPTA役員の皆様に、深く感謝します。明日より、再開第三期となり、給食、午後の授業が始まります。引き続き、本校の教育活動へのご理解・ご支援をお願いします。

さて、先週の金曜日の中休みに、本年度の児童会活動のリーダー（9つの委員会の委員長、6年生）と、話し合いの機会をもちました。「学校が再開して一ヶ月、どんな思いで過ごしてきたか。」「7月から給食を伴う通常授業が始まることをどう受け止めているか。」「これからの9ヶ月間（令和2年度末まで）、リーダーとしてどんな活動をしたいか。」などを尋ねました。子どもたちからは、「友だちと会えた嬉しさ」「新しい学年で新しい学習ができる喜び」「最上級生として、5年生と協力して委員会活動を盛り上げたい意欲」「新1年生が安心して生活できるようにお手伝いしたいという思い」等、温かく、力強い言葉を多く聞くことができました。しかし、一方で、「感染症のリスクに対する不安」「延期されている学校行事の行方（実施の有無）」「新生活様式に準拠した給食活動の負担（グループで会食できない等）」なども、話してくれました。私にとっては貴重な時間でした。子どもたちには、「新型コロナウイルスに感染しないための新生活様式をしっかりと守りましょう。その上で、リーダーの皆さんと校長先生を始めチーム岡村（教職員集団）で、知恵を出し合い、楽しい活動を創っていきましょう。」と、エールを送りました。頼もしいリーダーたちです。

巻頭文の表題「“コロナパニック”の影響下、想定される危機回避に努め、未来につながる教育活動を創出します。」は、別頁に記した「令和2年度 中期学校経営方針」の「中期取組目標」に掲げた内容です。上記の委員会リーダーと共有した話に通じるものです。

『マイナス』を『プラス』に変える発想を大切に、今年の学校経営に務めます。

今週3日（金）に、ご案内のとおり、「アルケミスト in 岡村小、ミニコンサート part 2」を開催し、「あの空」を合唱します（マスク着用、ソーシャルディスタンスを確保して実施）。この歌を作詞したこんやさんは、ブログの中で、「どんないい子にしているでも、どんなに真面目に勉強しているでも、挫折や孤独や悲しみは必ず、必ず訪れます。将来子供たちが大きな壁にぶつかった時のために、『がんばれ』のタイムカプセルを心に埋めよう！その思いから『あの空』は生まれました。」と綴っています。今回のイベント、岡村っ子への素敵なプレゼントです。